

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 10日

事業所名:児童発達支援センターすきっぷ

区分		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	基準(41.2㎡:24.7㎡+16.5㎡)以上の空間(86.0㎡:41.0㎡+45.0㎡)の確保はできている。	基準は達成できているが、活動内容や感染症対策等、スペースの利用方法について、より工夫していく。
	2	職員配置数は適切であるか	6	2	0	基準(2.5名)以上のスタッフ数(5名以上)の確保はできている。	基準は十分に達成できているため、プログラムや配置の工夫で、より良いサービス提供ができるよう整える。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	0	床面はフラットになっており、エレベーターも設置されている。様々な広さの部屋があり可動壁も活用している。日々子どもたちの課題に合わせてスタッフ間で配慮の方法について検討している。	今後も継続して、子どもたちの変化や課題をスタッフ全体で共有していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	毎日、清掃消毒を実施している。コロナ対策でこまめな換気や空間除菌脱臭機を設置している。	今後も継続して取り組んでいく。また活動に応じた空間設定を行っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	0	事業所アンケートだけでなく、事業計画や事業目標を設定し、職員会議の中で継続的に取り組んでいる。	スタッフ会議などで、PDACサイクルを共有し取り組んでいく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	評価結果についてスタッフ間で共有している。	スタッフ会議などで共有し、事業所・職員の目標として取り組む。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	0	評価結果についてはスタッフ間で共有するとともに、ホームページでの開示を行っている。	今後も継続して取り組む。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	0	保護者向け評価表や外部講師からのアドバイス等をもとに業務改善に取り組んでいる。	スタッフ間での共有を行い、必要に応じて業務改善を行っていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2	0	年間1人1回以上の研修の機会の確保と、外部講師による月3回の外部講師による訪問指導、法人内研修参加等の機会を設けている。	定期的に外部講師の訪問指導を受けている。様々な分野の研修の機会を確保し、資質向上につなげていく。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	保護者面談でのニーズの聞き取りや発達検査、専門職のアセスメント、療育スタッフの見立て等をもとに作成をしている。	今後も継続していく。
	11	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	0	発達検査を実施、分析するなど活用している。	今後も継続していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1	0	ガイドラインの閲覧を実施した上で、具体的な支援計画の作成に取り組んでいる。	今後も継続していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	プログラムに計画をふまえた個別のねらいを設置している。	スタッフがいつでも支援計画の閲覧ができるようにファイルしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	外部講師にもアドバイスをいただきながら、専門職、療育スタッフが連携して立案している。月案や年間予定で計画し、毎年見直しを行っている。	今後も継続し、より良いプログラム作成を目指していく。

区分		チェック項目	はい	どちら でもない	いい え	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
又 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	毎日活動プログラムが作成されている。	今後も継続して取り組む。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	本人やご家族と相談しながら、個別活動の目標および集団内での目標を作成している。	今後も継続して取り組む。

区分		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	0	時差勤務で職員間の連携が図りにくい状況であるため、余裕をもって準備を行い確認を行っている。	事前に共有することでより確認できやすくしていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	0	基本的に毎日の振り返りを実施している。振り返り以外にも職員で声を掛け合うことを意識している。	今後も継続し、より充実した振り返りとなるように、職員間での検討を行う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	毎日記録を作成し、児童発達支援管理責任者により内容等確認をしている。	さらに充実した記録となるように職員間での検討を行う。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	定期(半年)のモニタリングの実施している。また保護者・関係機関との連携を図り、計画に反映している。	今後も継続して取り組む。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	8	0	0	相談支援事業所が併設しているため状況の把握や連携が取りやすい。	今後も継続して取り組む。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	セミナーの開催やすきっぷ通信の配布、他にも頻繁に関係機関と連携を図っている。	今後も継続して取り組む。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	現在、医療的ケアが必要な子どもの利用はないが、受入れの際には体制を整えていく。	必要に応じて支援ができるように整えていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	0	0	現在、医療的ケアが必要な子どもの利用はないが、医療関係機関との連携等の体制を整えていく。	必要に応じて支援ができるように整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	連絡会、園見学等の取り組みで情報共有や連携を図っている。	今後はさらに充実した連携ができるように取り組む。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	移行支援シートの作成、連絡会やすきっぷ通信等で情報共有や連携を図っている。	今後はさらに充実した連携ができるように取り組む。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	0	当事業所発信による連携や、セミナーに他事業所からの参加が増えるように広く呼び掛けている。また専門機関への研修には積極的に参加している。	今後もより充実した連携ができるように取り組む。他機関や他事業所などが研修などを設定された時には積極的に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	3	機会として設定はできてはいない。	今後は機会の確保に向けた保護者のご意見や気持ちも把握しながら検討をする。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	0	0	自立支援協議会に子ども支援部会が設定されていないが、協議会の会議には参加している。	関係機関との会議や連携の機会があれば積極的に参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	送迎時や随時面談等を実施し、保護者とのコミュニケーションが図れている。	今後も継続して取り組む。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	1	0	「保護者deおしゃべり」「保護者参加行事」「保護者向けセミナー」等を実施している。	今後はスタッフがペアレント・トレーニング養成研修などへの積極的な参加を実施する。

区分		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	契約時に説明を行っている。	今後は契約に必要な書類をスタッフ全員が閲覧できるように整える。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	1	0	年間1人2回の面談を行い、保護者に同意のもとサインを頂いている。	今後も継続して取り組む。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	毎回の送迎時や年2回の面談、検査返し、保護者おしゃべり会の開催の他、随時見学や面談を受け、保護者とのコミュニケーションをとっている。	さらに充実できるように取り組む。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	0	「保護者deおしゃべり」「保護者参加行事」等を実施している。コロナ禍でも可能な方法としてオンラインでも実施している。	今後もより充実できるよう取り組む。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2	0	苦情に関する対応システムがあり、苦情があれば取り組む。	苦情がないよう事業所全体で取り組んでいく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	月1回すきっぷ通信の発行、年4回さーきつと(保護者・関係機関との連携)を発行している。	今後も継続して取り組む。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	個人情報の取扱いに関する指針を設けており、今後は更なる徹底を行う。	今後も注意して取り扱う。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	子どもたち・保護者の意思を確認しながら、写真やビデオ、オンラインでの見学等、充実したコミュニケーションができるよう配慮を行っている。	今後も継続して取り組む。
非常時などの対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	2	地域の方を招待する機会は設けていないが、行事等にはボランティアの方を招待するなど可能な範囲で企画している。	今後はより充実できるよう検討を行う。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	0	マニュアルは策定できている。訓練については毎月取り組んでおり、今後はより実践的な訓練としていく。	マニュアルについてはスタッフが常に確認できるよう整え、訓練に関してもお知らせ等での周知だけでなく、実際の様子などが保護者の方も確認できるよう取り組む。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	毎月取り組んでいる。	今後はより細かく状況を設定し、継続して取り組んでいく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	アセスメント時、契約時に確認をしている。	今後も継続して取り組んでいく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	アセスメント時、契約時に確認をしている。	今後も継続して取り組んでいく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	ヒヤリハットについては事業所内で確認し、法人内のヒヤリハット事例集を共有している。	今後も継続して取り組んでいく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	虐待に関する法人内・事業所内研修を実施している。報道などがあつた際には職員間で共有している。	今後も継続して取り組んでいく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1	0	事業所では身体拘束は行わないこととなっている。	今後についても十分に検証を行い、必要なら記載を行う。